

2019年度

# 支部長研修会を開催 6/22(土)~23(日) 於:日工同窓会館



日専寮前で記念撮影

厚い雨雲が押し寄せる中、日工同窓会館に於いて支部長32名、役員44名の合計76名の参加にて「2019年度支部長研修会」が開催された。

当初は日専寮を会場として本研修会の開催を予定していたが、日専寮が危険物取得者試験会場となったために使用が叶わず、研修会の前半は同窓会館を会場として各支部の活動報告や役員マニュアルの研修を行い、後半は日専寮へ移動して、在校生の案内により学校見学を行った。

本年3月、1寮の解体工事によりその姿を消したため、風景は一変し見学者一同当時の懐かしい思い出話に浸っていた。

研修会終了後は、懇親会開催のため会場を入りばし旅館へと移し、日専寮の先生でもあり同窓生でもある齊藤慎先生(77卒)と北山紀之先生(92卒)、歌川さんにも参加をいただき、各支部の情報交換を兼ねた懇親会を実施した。

最後は、瀬川顕吾氏(83卒・水戸)の華麗なる指揮により、校歌と寮歌を声高らかに斉唱し、各支部の絆を一段と深めて幕を閉じた。



第438号

2019年7月18日発行  
日工同窓会広報委員会  
編集責任者 瀧澤 之靖  
発行人 細金 敦

日工同窓会事務局  
日工同窓会館  
〒317-0077  
日立市城南町5丁目14番13号  
TEL (0294) - 21 - 5237  
FAX (0294) - 21 - 5241  
E-mail: dosokaij@net1.jway.ne.jp  
http://nikkoudousoukai.net/

印刷所  
大成印刷株式会社

## 今号の主な内容

支部長研修会	1~3面
高師登場	3面
支部長登場、遠隔支部訪問	4面
学校だより	5~6面
新任本部役員研修会	7面
日立金属3支部懇親会	8~10面
本部会員の頁	11面
会計監査報告、役員会議事録	12面
社内外表彰・消息・編集後記	

## ◇山崎会長挨拶



本日は、支部長研修会のご参加、有難うございます。早速ですが、日本の工業高校をめざして活動しております「日専校の今」をご紹介します。東京オリンピック開催を目前に、おもてなしの素晴らしさも含めて、Cool Japan(クールジャパン)という言葉をよく聞きます。「カッコいい」「素敵だ」「高品質で信頼できる」ということで、様々な提案や工夫が、テレビなどでも紹介されてい



同窓会ホームページはスマートフォン等からも上記のQRコードを読み取るだけで簡単にアクセスが可能です!

まず第一の生徒と先生が一体となった取組みですが、現在、私たちは、他の工業高校に抜きん出てアピールできる強さの一つを、ジュニアマイスターゴールドに求めています。この中には、国家技能検定、危険物乙4を始め、計算技術、漢字、英語、IT技術など、様々な資格が含まれています。生徒たちは、自分の得意を伸ばしながら、日々懸命に努力しています。今年3月に卒業した104回卒の内、3割強が、ゴールドの45点以上を取得しました。この割合をさらに高めて、近い将来には6割を超える水準をめざします。その際、生徒が主体的に学び、先生は生徒をサポートする教育方法を意識していきたい。つまり、「生徒を教え

(2頁へ続く)

(1頁の続き)

「育てること」以上に、「生徒が自ら育つことを教えること」に重点を置く考え方を大切にしてまいります。

2つ目は、設備の充実です。毎年部活動を主体に、同窓会本部、卒業生同期の皆様から多大なる寄付を頂いています。OBの支援を意識しながら校内を見渡しますと、体育館の校歌や植樹など、先輩の温かい思いが沢山詰まった学校だということがよく分かります。一方、学校の施策としては、実習棟に、技能五輪用旋盤やメカトロの新機材を設置し、各教室には、60インチのモニターとエアコンを完備しました。全生徒へノートパソコンを配布し、1時限の授業を50分から45分へ切り替えました。IT機材の活用を通して、授業効率を向上させ、従来以上の成果を出しながら、生徒個人が毎日をより有意義に過ごせるよう取り組みます。

3つ目は、校内環境です。最近野球部、部室裏の森の労作を行いました。実は、後から分かった事ですが、今の校舎が1982年にグラウンド北側から今の場所に新築された後八紘ヶ丘、隠れ池(当時の名)などが整備されました。70回卒前後の時代です。今、約35年ぶりに、生徒の頑張りで、再度すつきりさせました。校内を散歩していますと、つがいの雉を時々見かけます。池には、鯉、鮒

金魚が泳いでいます。桜・つつじも植樹して、10年後の成長が楽しみみです。生き物が、伸び伸びと育ち、動き回っていると、生徒も生き活きとしていきます。自然の美や命を感じられる公園のような学校になればと思っています。

「神は細部に宿る」という言葉があります。人が気づかないような、小さな事にもこだわって、手を抜かない。観察し、気づく力を養う。自分から提案し、一歩ずつ実行する。そういう小改善活動が、生徒の努力と先生のサポートで、着実に積み重ねられてつあります。この細部の累積こそが、クールな日専校の成果です。諸先輩からも、引き続き、励ましてやアドバイスをお願いします。本日は懇親会も含め、どうぞ、宜しくお願いいたします。

◇本部会員運営委員会  
副主査の活動報告



佐藤 忠良(49卒)



事務局  
石井 浩  
(58卒)



各委員会の副会長紹介



代表副会長  
永村 修一  
(69卒・佐和)



佐和支部  
小野寺 隆  
(74卒)



日研支部  
渡部 幸一  
(67卒)



大みか支部  
橋本 次雄  
(72卒)



多賀支部  
菊池 一成  
(75卒)



国分支部  
鈴木 正人  
(76卒)



日立支部  
狩野 隆  
(68卒)



日高支部  
大河原 孝  
(70卒)



電線支部  
石川 智大  
(80卒)



日立パワー支部  
佐々木由雄  
(65卒)



石神支部  
小池 恭平  
(95卒)



水戸支部  
新美 行男  
(76卒)



那珂支部  
鎌田 政人  
(74卒)



土浦支部  
鬼澤 泰彦  
(75卒)



栃木支部  
菊池 智之  
(76卒)



下館支部  
廣澤 卓也  
(72卒)



桜川支部  
菅野 和則  
(70卒)



山崎支部  
深谷 真一  
(74卒)



豊浦支部  
小川 光敏  
(73卒)



群馬支部  
河田 佑太  
(90卒)



中条支部  
土肥 学  
(74卒)



旭支部  
中町 義之  
(76卒)



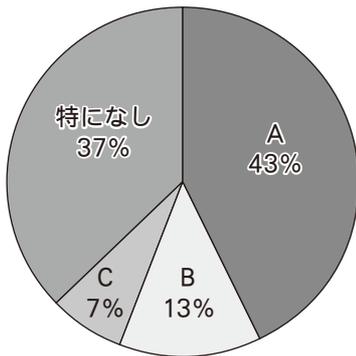
小田原支部  
高橋 龍次  
(68卒)



京浜支部  
吉田 浩  
(77卒)



日立金属土浦支部  
大平 悟  
(74卒)



### 支部長研修会の感想

#### 研修会アンケート結果

- A: 各支部の悩みが聞けて良かった
- B: 同期、先輩等に会えるのが良い
- C: 議論、質疑応答がない



五井支部  
水落 辰矢  
(80卒)



建機支部  
大平 英樹  
(76卒)

## 技能に生きる(高師登場)



日立金属(株)茨城工場  
電線製造部 平野 弘行(69卒・日高)

### 「気づきが自己の向上に繋がる」

入社以来、現在に至るまで35年に渡り、一貫して光を用いた製品の製造現場での装置据付け工事など多くの経験を積ませていただきました。入社二年目に初めて現地出張の機会をいただきました。少し仕事を覚えてきた時期であり、顧客と接することなど眼中になく作業をすれば良いと軽い気持ちでのぞんでいました。いざ現地に入るとお客様から電気的特性やトラブル時の対処法など数多くの問いがあり適切な返答もできず、未熟さを気づかされる貴重な経験をしました。経験から学んだ事は、いかに知識が欠如したまま無意識かつ惰性的な仕事をしてきたか、現場にとって技術と知識を得た上で仕事に取り組む事の重要性を気に留めていなかった事など反省と振り返りで自身を見つめ直すことが出来ました。そして、自身の成長の糧として「気づき」が出来る人が一つの目標となりました。気づきの感性を高める為に物事に疑問を持つ事を常に心掛け「なぜ・なぜ」を行うことを意識して仕事に取り組むこと30年以上、ようやく目標に近づいた感じがします。更に今日より一歩進んだ明日の自分を目指して、自分の視点を変える、自分自身を変える、新たな知識を得て自分を磨く、それらのことを心掛けながら感性を磨くことに精進しています。また、後進に対しても自身の経験を伝えられるように微力ですが貢献できればと考えています。

最後に、自分が基礎的な考え方を身に付けたのは、日専校での学びであり、勉学・技術は勿論の事、挨拶・掃除をしっかりと身に着けたことで企業人として活躍できている事に感謝しています。

支部長登場

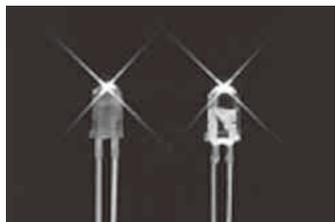
五井支部



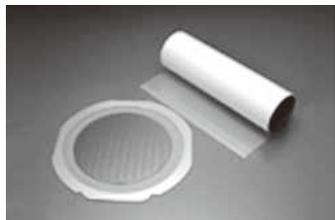
支部長 水落 辰夫 (80卒)

「五井支部？どこにあるの？」と思われる方、多数いると思います。我々の勤務する日立化成(株)五井事業所は千葉県市原市の東京湾沿岸にある京葉コンビナートの一画に所在しています。1973年に日立市にある山崎工場(当時)から分離・独立し、そのとき転勤になった諸先輩方により設立され、現在16名で活動しています。

五井事業所では化学素材のエポキシ樹脂硬化剤や機能性アクリレート、半導体用材料の高耐熱コーティング材やダイシング・ダイボンディング



エポキシ樹脂硬化剤(使用例:発光ダイオード)



ダイシング・ダイボンディング



機能性アクリレート

一体型フィルムなどを製造しており、化学素材はプラスチックや着剤の原料として、半導体用材料はスマートフォンなどの心臓部などに使用されています。

支部活

動では夏に暑気払い、1月または2月に総会を兼ねた新年会を行っており、その際にはOBにも声をかけ、交流を図っています。また、少人数の支部ですが、16名中13名は交代勤務のため、各行事を2回行い参加できる機会を増やすといったことも

\*支部長ってこんな人\*

私、漬物が好きでして、10年ほど前にふと「ぬか漬、漬けてみよっかな」と思い、ぬか漬をはじめ今に至ります。漬ける食材はキュウリが大半で時々ニンジン。秋になるとサンマを漬けたりもします。(他にも色々漬けましたよ...)ぬか床の手入れは毎日の事なので意外と手がかかります。実家に3~4日帰省した時には持って行って手入れをしたこともあります。が、そうしてできたものはやはり美味しさもひとしおです。(自画自賛ww)毎日の食卓に欠かすことはなく、酒の肴にも大活躍。あと10年、20年できる限りやっていきな一と思っています。



行ってきました。

現在、同窓会を取り巻く環境は大きく変化していきな、諸先輩方が築き上げた伝統を後進にしっかりと渡せるよう尽力していきたいと思います。

最後に日工同窓会の益々の発展と会員皆様方のご健勝を祈念するとともに、五井支部へのご指導、ご支援を宜しくお願いいたします。写真は「日立化成ホームページより抜粋」

遠隔支部訪問記

中条支部編

3月22日(金)、地区同窓会に所属しない遠隔支部の状況確認や活動支援を目的に、中条支部を訪問した。

中条支部は新潟県北部に位置する胎内市にある(株)日立産機システム中条事業所内に置かれており、上越新幹線新潟駅より在来線とタクシーを乗り継いで1時間弱。もともと近い支部は群馬支部であるため、地区活動を共にすることは困難である。

当日は、土肥学支部長(74卒)をはじめ、歴代支部長の清田明博氏(70卒)、青山賢一氏(71卒)、多田光行氏(72卒)、会計幹事の水沢力氏(72卒)、次期支部長候補の中村大輔氏(80卒)と面会し、会員が活躍している職場の見学や、意見・情報交換をさせていただいた。

中条支部は66回卒から毎年2名前後の採用が続ぎ、84回卒まで36名が配属されたが、異動・退職・死亡などにより、現在の会員数は16名まで減少している。その後、約20年間日専校生を採用されていないことについて、ご多忙中に会議室にお越しいただいた伊藤総務部長にお伺いした。かつては、技能五輪や全社技能オリンピックで優秀な成績を収め、職場で活躍していることはご理解いただきながらも、退職・離職のリスクを考慮すると、3年間の学費を負担することは困難であるという胸の内を明かされた。私からは



課程があることをご紹介し、採用再開のご検討をお願いした。

一方、支部活動については、夜勤者が多く、全員の日程調整に苦労されているようだが、

会員同士は日頃からコミュニケーションが図られ、仲が良いと感じられた。また、職制として職場の取り纏めをされている会員が多く、当日もその活躍ぶりを伺うことができた。本部行事には参加されているが、その重要性についても理解されているが、より多くの支部会員との意見交換や交流を図るために、定期的に本部から支部への訪問を要望された。年度末納期の製品出荷に向けた繁忙期での訪問で、ご迷惑をお掛けしたことを反省しつつも、非常に有意義な時間を過ごさせていただいたことに感謝している。地区同窓会に所属しない支部への支援活動は今後も引き続き継続し、課題解決に向けて取り組んでいきたい。

細金 敦(71卒・日研)

### 学校だより

## JIS溶接技術検定実施

5月20日(月)本校にてJIS溶接技術検定試験の実技と学科が実施された。一般の受験者に混じって3年溶接科24名が、半自動溶接(専門級(9mm板の立向き))とステンレス鋼3mmのTIG溶接に挑戦した。



学科試験前の注意説明

溶接協会からの注意事項の後、ステンレス鋼溶接の学科試験を実施その後、実技試験である。実習時間のほかに補習を重ねた結果、概ね普段の実力が発揮でき、ビード外観は良好であった。残る曲げ試験(溶接部の健全性を検査する破壊試験)の合格判定は7月中旬に予定されており、全員合格を期待している。一般の受験者の中には、資格更新のため

めに本校卒業生が数名受験しており、職場の現状確認などなかなかひと時を得ることが出来た。

## 新体力テスト

### 自分の限界に挑戦

5月14日(火)に新体力テストを実施した。身長、体重などの身体測定と20メートルシャトルラン以外の種目を体育館、グラウンド、それぞれにわかれて行った。反復横とびや50メートル走など通常の種目に加え、日専校独自の学校特別指定種目である腕立て伏せ、垂直とびも行われた。生徒たちは体育や部活動で鍛えた運動の成果を大いに発揮し、自分の限界に挑戦していた。



## 避難訓練を実施

6月6日(木)、消防計画書に基づき避難訓練を実施した。13時30分に非常ベルを鳴らし、仮想の状況を放送、それぞれの授業場所からグラウンドに避難を開始した。避難開始から人員報告終了までの時間が4分30秒で、テキパキとした行動が出来た。その後、日立消防署、防災サーピス



消火器取り扱い訓練

## 専門課程工場見学

### 及びモノづくり体験

6月4日(火)、5日(水)

専門課程の課外授業としてさいたま市の㈱日立ニコトランスミッション大宮工場見学を、モノづくり体験として造幣局さいたま支局と草履づくり、TOP水上カンパニー(群馬県水上町)にてラフティングを行った。

の指導をいただきながら、救助袋の避難体験、消火器を使った消火訓練煙の中を通過するスモーク体験を実施した。職員、生徒共に防災に関する意識を再確認する良い機会となった。

### 救助袋の避難体験



スモーク体験



工場見学では、今は、今後配属が見込まれる機械加工、組立て職場を中心に真剣な態度で見学をした。

職場は大物の機械も多いが、空調も整えられており夏場でも働きやすい環境だと感じた。昼食は専門課程OB4名と自己紹介やお互いの現状を話し合い、和やかな雰囲気であり有意義な時間であった。



㈱日立ニコトランスミッション見学



OBと会食

造幣局の見学では、普段使用している貨幣がどのように製造されているか、また勲章、褒章は美麗、尊厳品格を兼ね備えていることが要求されるため、熟練した職員が細心の注意を払って仕事に打ち込む姿を間近で見学する事で、社会人になる為の意識向上に繋げてほしいと感じた。

(5頁の続き)

2日目のラフティングでは、全員が初めての体験だった。水量も多く、流れも速かったがガイドの指示に従いながら各チームの結束力で無事安全にラフティングを終えることが出来た。



わら草履製作



ラフティング

わら草履づくりでは、ベテランの方々の指導のおかげで、ひとりひとりが自分の草履を完成できた。途中苦戦していた生徒も見られ、改めてモノづくりの難しさを痛感した。

今回の工場見学、体験研修を通して経験した事を今後の学校生活に活かす、クラス一致団結して頑張りたい。生徒達からも満足したとの感想を聞き、有意義で価値ある工場見学等となった。

### 1年生による溶接体験実施

1年生の後期から電気、機械、溶接の3つの専攻科に分かれるが、機械実習、電気実習については授業に組み込まれているが、溶接実習に関しては、災害ポテンシャルが高いため授業を行っていない。今回の体験を通して、溶接の実態を感じ、溶接科希望者を募る上で実施している。最初に溶接の特性と安全知識を説明、保護具を着用してアークを発生する。1年生に溶接科2・3年生が1対1で指導員として付き、体験を行う。1日目は鋼板の表面に半自動溶接と手溶接で鋼板にビードを置く。2日目は、溶接接合を用い「簡単なペンスタンド」を作製した。



体験風景

### 寮祭開催

6月19日(水)「令和の寮祭? いやどおも!」のテーマで恒例の寮祭が実施された。2部形式になっており、1部はフロア対抗女装ダンスコンテスト、2部はカラオケ・コントで非常に盛り上がった。1、2部のもっとも人気のあったのが『4階の女装ダンス』で山崎校長から表彰を受けた。

今年昨年の寮祭データが残っており、一からの準備となり大変苦労した。来年のためにも、良かったことや反省点をまとめると、良かった点は、事前の準備のおかげで会場設営や片付けがスムーズに行え、また各テーブルの脇にゴミ袋を置いたので、ゴミを回収する手間が省けた。次に改善点として、①ペンライトを使ったパフォーマンスで投げたペンライトが生徒の顔に当たり怪我



ペンスタンド



女装ダンス



熱唱

人がでてしまった。来年からは投げの禁止するなど対策を考え、怪我人が出ないようにしたい。②パフォーマンスする人の声が小さく聞こえない、早口で聞き取りづらいなどという問題があり、改善としてピンマイク、もしくはマイクを持ってパフォーマンスをさせる。また、リハーサルの際にゆっくりハキハキ喋り、伝え方など工夫を検討するなど、これらの反省を活かし来年は、更に皆が楽しめるように完璧にしたい。

寮役員・小堀

## 学校行事 (2019.8~2019.9)

7/26(金)~ 8/26(月)	生徒夏季休暇	9/3(火)	2級電子機器組立て技能士実技試験
8/2(金)	専門課程入試合格発表	9/9(月)~ 9/11(水)	前期末試験
9/1(日)	2級電子機器組立て技能士学科試験	9/13(金)	OPENDAY
	QC検定4級	9/24(火)	寮部屋換え、寮スポーツ大会



# 8月～9月の部活動予定

卓球部	8/21(水)、22(木)	全日本ジュニア県北地区予選	会瀬体育館
	9/15(日)	全日本ジュニア県予選	アダストリアみとアリーナ
バスケットボール部	8/23(金)、8/24(土)	県北1,2年生大会	
ソフトテニス部	8/21(水)	県北地区高校ソフトテニス夏季選手権大会	日立市民運動公園テニスコート
剣道部	8/14(水)	全国校門旗争奪剣道大会	船橋アリーナ
	9/14(土)	令和元年度県北地区秋季剣道大会	久慈サンピアスポーツセンター
サッカー部	8/27(土)～	選手権大会茨城県1次予選	
陸上部	8月22日(木)～25日(日)	県高校新人大会	笠松運動公園陸上競技場
野球部	8/17(土)～20(火)	県北ジュニア大会	
	8/31(土)～9/3(火)	県北予選	
	8/13(金)～9/22(日)	県大会	



## 新任役員研修会

去る5月29日(水)日工同窓会館において2019年度の新任役員研修を開催した。この研修会は一昨年より取り組んでいる行事で、本部役員に就任したものの、「組織がよく分かっていない」「どの様な活動をしているのか」「そもそも何をすればいいのか」などと言う意見があったことから、新任役員が同窓会本部の役割を正しく理解し、円滑に同窓会の運営に携われるようにと企画されたものである。

今年度は新任役員6名と各委員会から14名が参加した。研修会では各委員会の目的や役割、活動内容、具体的な計画などが紹介され、参加した新任役員は真剣な表情で研修を行った。

今年度の新任役員の活躍により、同窓会活動がより活発となることを期待する。



## 日立金属3支部 合同懇親会

6月28日(金)日立金属日高、豊浦、電線の3支部と各総務部との合同懇親会を杉の内クラブにて開催された。今回で4回目となるが各3支部の支部長、支部役員と総務部から林総務部長、城戸主任部員、樋口主任を迎え、総勢12名で開催された。

この合同懇親会を開催する背景としては、日立金属(株)にも新人を受け入れて、各支部の繁栄、次世代の若者の育成に貢献するという目的である。学校に訪問して日立金属のPR等も行い、ここ数年で新人が配属する結果に繋がっている。

懇親会は、各支部長挨拶、近況報告後、総務部からの挨拶があり懇親に入った。予定していた2時間は瞬間に過ぎ、実のある有意義な時間を共有することができた。



終始和やかな懇親会

## ◆◆◆ 支部総会 ◆◆◆

### 神奈川支部



- 開催日：2019/6/7
- 参加者：35名
- 開催場所：レストラン『ラ・シェール』

### 群馬支部



- 開催日：2019/6/1
- 参加者：21名
- 開催場所：自遊館

### 厚木支部



- 開催日：2019/5/24
- 参加者：34名
- 開催場所：厚木クラブ

地区懇親会

初開催の常陸太田を含め全13地区で実施

2018年度地区懇親会実施状況一覧表

番号	地区名	実施日	場 所	人数
1	北茨城	2018.10.27	豊島屋	9
2	日立北部	2018.11.10	長寿の湯	19
3	日立中央	2018.10.28	しいな	24
4	日立中部I	2018.11.26	多賀市民会館	34
5	日立中部II	2018.11.21	大みかクラブ	19
6	日立南部	2018.11.22	大みかクラブ	18
7	日立十王	2019.3.10	市内寿司店	15
8	東 海	2018.11.11	ばんどう太郎東海店	10
9	ひたちなか	2019.3.7	いさみ	25
10	高 萩	2019.3.22	鶴の岬	11
11	常陸太田	2019.1.24	ばんどう太郎常陸太田店	17
12	那 珂	2018.11.17	ばんどう太郎那珂店	31
13	水 戸	2018.11.24	庄や	11

高萩地区懇親会

2019年3月22日国民宿舎「鶴の岬」にて11人の参加により、高萩地区懇親会を開催した。

9時30分、集合場所のJR高萩駅前に参加者がそろったところに迎車バスが到着。車中、参加者の面々が、

久しぶりの顔合わせに懐かしく会話をはずませているうちに、第1部のグラウンドゴルフ場に到着。先発隊に協力しコースを作った。簡単なルール説明を行った後、軽めの試し打ちでゲームをスタート。コース作りもゲームも先



新しい通信員の体制で益々活性化が期待される

輩・後輩の垣根なく、和気あいあいと楽しむことが出来た。  
12時30分からの第2部懇親会までは、太平洋を一望できる「大展望風呂」でリラックスした。  
「懇親会」は地区長・花園節夫氏(47卒)の司会で開始。  
開宴に先立ち、昨年逝去された谷田部庄一氏(28卒)のご冥福を祈り黙とうを捧げた。続いて最若手の長峰省三氏(58卒)の乾杯の音頭で宴

2019年3月10日(日) 12時より地区内の寿司店において、15人が出席して「第8回十王地区懇親会」

日立十王地区懇親会

(47卒 斎藤勝)

恒例の全員で肩を組み校歌を斉唱、最後の手締めで無事、懇親会を終了した。新体制による地区活性化の盛り上がり期待したい。



おなじみ十王ギャラリー、初参加の若手会員も先輩と一緒に和やかに

を開催した。  
今回も、別室に設けた趣味の広場「十王ギャラリー」に、濱島民治氏(42卒)の水彩画3点が展示された。懇親会開始にあたり金沢地区長の「9頁の最上段に続く」

に入った。  
最初に地区通信員の交代を報告。山崎輝雄氏(49卒)、佐久間英二氏(50卒)、長峰省三氏、継続1名の計4名と体制を強化した。続いて自己紹介に移った。  
出席者の近況報告では、当日に健康チェックをして出席いただいた先輩も、質問される場面もあり、飲み放題のアルコールとともに和やかに親睦を深めることができた。  
(追記) 斎藤勝氏へ  
「長年地区通信委員の活躍ご苦労様でした。感謝申し上げますとともに、今後ともご指導、ご協力お願いします。(地区全会員より)」

〔8頁の最下段から続く〕  
挨拶をいただき、その中で欠席者の近況報告が紹介された。

懇親会は、吉野将二郎氏(49卒)の乾杯の音頭で始まり頃合いをみて出席者全員の近況報告を行った。今回は若手の綿引弘一氏(61卒)と沼田義雄氏(62卒)が初参加となり大いに盛り上った。前回は、19人の参加であったが、今回は体調不良、ポリープ手術後など健康面での理由に

### 常陸太田地区懇親会

## 初めての開催、身近な仲間と和やかに

1月24日(木)、第1回の常陸太田地区本部会員昼食懇親会を「ぼんど」うたろう常陸太田総本店」で実施した。

初めての開催であったため、どのような催しになるかとの不安もあったが、17人の参加者に一安心。

同窓会の活動報告・会報配布状況等の説明に始まり、大先輩大内公美氏(39卒)のご挨拶と乾杯で宴がスタート。

「始めまして」の挨拶は一瞬。そこは同窓会、雰囲気が一気に和らいだ。

さらに自己紹介で、お互い身近な所で生活していることも分り会話が

よる欠席者が多かった。健康第一で各自ご自愛いただきたいと思う。飲み放題のアルコールも十分に回ったところで、カラオケが始まり熱唱が続いた。正午にスタートした宴も予定の15時が過ぎ、全員肩を組んで輪をつくり校歌、寮歌を斉唱し、最後に恒例の宮崎博文氏(62卒)のエールでお開きとなった。

(58卒 石井浩)

### 水戸地区懇親会

2018年11月24日(土) 正午より、水戸駅前の食事処「庄や」にて、水戸地区の懇親会を地区会員18人のうち11人の参加と本部役員委員役員の関根氏(44卒)をお招きし開催した。

開会に先立ち、本年に亡くなられた水戸地区の地区長として地区の発展に力を尽くされてきた菊池先輩(39卒)と篠原徹氏(34卒)、藤田忠氏(49卒)のご冥福を祈り黙とうを捧げて追悼した。

懇親会は、鈴木博氏(41卒)による乾杯の音頭で始まり、初参加の川上利通氏(43卒)、堀越正吾氏(49卒)、斎藤善宏氏(75卒)の自己紹介並びに近況報告と他の参加者の最近の様子などを報告していただいた。

川上氏は国分工場の設計で仕事をされ、本社勤務も経験されたとのこと。自宅は二十三夜尊の隣にあり、高台からの那珂川方面の眺望は素晴らしいので是非見に来て欲しい。また地元ソフトボールチームに参加し、近年は取りまとめとして腕を振るってきたがそろそろ引退の時期かと考えているという。若々しさに敬服。

堀越氏は水戸工場で車両電機品の検査を担当されてきた。昔話になるが大阪万博時は会場に常駐し万博内の交通のメンテナンスに当たったという。趣味は写真撮影や海浜公園のボランティアで、特に写真ではNHK水戸のテーマ別写真に応募され何度も放映されている。

斎藤氏は47歳で本部役員としては若く平均年齢を一気に押し下げてくれた。氏は日立電線から日立金属に移り、そこから住友化学に転属されたのを機に本部会員になったという。

恒例の近況報告が終わるころには話も弾み始め、山川地区長(46卒)のカラオケ・杖道・川柳・居合道などなど10に上る趣味の披露、堀越氏の「われら日立の底流たらん」という同窓会の理念の講義、上遠野氏(57卒)による技能五輪の動向と日専校等の技能教育の現状報告、押野氏(59卒)の持ち家からマンション住まいに代えたことによるメリット談など話題は尽きることが無い。しかし、制限時間も迫る中、寮歌と校歌を声高らかに斉唱し、次の再会まで各人健康に過ごすことを誓い一本で締めて散会となった。

(49卒 埴洋史)

尽きず、あつという間の2時間半だった。最年少の伊藤吉二氏(60卒)の一本締めと次回開催の約束でお開きとした。「開催して良かった」との意見が多数あり、次回もこのような形で進めようと考えている。

(52卒 石田正喜)



第1回の地区懇親会は長く心に残る記念すべき会となった



初参加の3人に本部役員を加え盛り上がる

## 平成最後の笑仁会 (32卒)総会開催

笑仁会総会は、風薫る桜花爛漫の季節に、送迎車付きの一泊総会で、実施して来たが、平成29年度以降、日帰りで行事に改めた。2019年(平成31年)も、4月5日(金)11時半より、あんずの花の盛りは終わったが、多賀あんず並木通りの「新富館」にて、平成最後となる改元記念総会を実施した。

集まった顔触れは、昨年の早生まれ卒寿総会の時より、3人減って、6人の少人数となり、北から、南中郷の坂田、高萩の飯泉、日立の鈴木、中島、多賀の佐川、水戸の上久保君の面々で、大志を抱いて?日専校に入学してから76年、頭髪は白く薄くなりはしたが、見掛けは昨年とほとんど変わらない。しかし、円卓に座ったり、立ったりする際に、自然と「どっこいしょ」の声が出て、年々動作が緩慢になり、人生百年時代と言われる昨今だが、91年の年輪の重みは、決して軽くはない。



90歳を超えての同期会 とにかく元気でなくちゃ

開会に先立ち、昨年度介護も虚しく、鬼籍に入

られた、笛の名手佐々木君、パソコンのパイオニア田所君に黙とうを捧げ、「ご冥福をお祈りした。」総会は、いつもの通り、中島副会長の挨拶と乾杯の音頭で始め、佐川幹事の会計報告と、本部会員運営委員会運営会議の中から、現在生徒数258人、本部会員960人、匠ロードの脇に紅葉ヶ池を整備中等々の他同窓会会館の利用の促進要請があったことも、付け加えた。

宴席は、「新富館」のオリジナル料理を堪能しながら、隣席同士の会話が弾み、健康や介護の話題が中心となり、酒類を控える者が多いことも有って、盛り上がるというよりは、和やかな雰囲気には終始した。

来年度総会については、来年にならないと分からない歳なので、幹事自身にも自信は無いが、幹事に任せて貰う事にした。それで、これからも、「転ばない、交通事故に気を付けて車は運転しない、頭に来ない、風邪を引かない」等、ないないづくしの励行に努め、来年も、「新富館」で再会出来るよう、頑張る事を誓って解散した。(佐川幸)

### 同期の富川設立の学校20周年を祝福 47卒溶接科クラス会を開催

47卒溶接科関東地区クラス会を2018年10月17日(水)、かすみがうら市内で行った。東京、埼玉、結城、比国マニラ市他から12人が参加。大洗漁港に集合し、母ちゃん食堂で昼食。石井の紹介で行方市内にある、茨城県で唯一の種まきから収穫まで、コンピューター管理して

いる、みつば水耕栽培ハウスを見学した。温度、湿度肥料他の諸条件が完全自動化され一人で管理しているとのこと。一般店舗販売はされておらず、東京銀座の高級料亭、高級ホテルに納入しているとか。その超高級箱入りみつばをいた、だきカーちゃん

の土産となった。夕方、かすみがうら市郊外のFES研修所(富川が比国マニラ市内で技術研修生養成学校理事長をしている幹部クラスの研修施設)に到着。

研修所は田んぼと蓮根田を見下ろす自然林に囲まれた高台にあり、日本庭園に囲まれた純和風造りの建物。日本人、比国人幹部研修には有識者を講師にお願いしているとのこと。

司会は菊池、荒川の乾杯で富川学校創立20周年を祝福しての大会宴となった。豪華な料理と美酒、高級酒は富川からの差入れ、富川の比国での苦勞話と活躍ぶり(日本の安倍首相、比国ドゥテルテ大統領の晩餐



フィリピンで活躍する同期生 匠の技がここでも生きている

会にも招待されている)を驚きながら拝聴する。昨年夏の西日本豪雨で被害にあった広島県呉市在住の藤原、出席できなかった級友6人の近況等々、夜の更けるのも忘れ語り合い旧交を温めた。笑顔で撮った「祝富川学校二十周年」の記念写真に全員が名前を書き入れ額に装丁し進呈した。翌朝は3000坪の庭内を散策、来年の再会を約して散会した。

(渡邊勝好)

日工同窓会 会長  
山崎 一平 殿

# 2018年度 会計監査報告書

1. 監査日時：2019年5月18日（土）13：00～16：20

2019年5月30日

2. 監査場所：日工同窓会館

3. 監査結果 2018年度（自2018年4月1日～至2019年3月31日）決算報告書並びにこれら関係諸帳票・証拠書類などにより監査を実施致しました。監査の結果、報告通り相違ないことを認めます。

会計監査 三村 忠男



児島 強



佐藤 貞男



### 【補 足】

各委員会及び、事務局より関係書類等を含め、歳入・歳出、更に活動の内容について詳細に報告を受けました。それぞれの委員会とも目的に応じた経費の配分と効率的な運用がなされておりました。また、昨年度の会計監査指摘事項に対しても十分に議論され、全ての項目が改善されていることを確認しました。

それらを踏まえ、下記3点について要望致します。

- (1) 準支部や少人数の地区など、支部や地区活動でサポートし切れない会員に対し、活動活性化の働きかけ、支援を継続頂きたい。
- (2) 引き続き各支部が抱える問題を把握し、その施策を本部活動に反映して頂きたい。
- (3) 2019年度は、2020年度「創立100周年記念行事」の成功に向けた重要な年度です。各委員会は、実行目標を明確にして一層準備を進めて頂きたい。

-以上-

## 2019年度 役員会議議事録

### 第1回5月7日（水）

#### 【山崎会長挨拶】

各支部総会に出席しての気づき点  
①総会に出席するとタクシー券を準備してくれるが、渡す場合は支部長名、行先を記入していただくと不正の心配がなくなるのでは。

②総会に出ず懇親会より出席するが来賓が15名程いる支部では挨拶が長い。支部によっては、主要な方のみ乾杯前に紹介し、他の方は乾杯後に紹介している。支部内の申し送りとなっているが思い切った改善を検討願いたい。

#### 【永村代表副会長挨拶】

今年度は100周年に向け大事な年となる。また、代表副会長として1年目の年度となり慣れの点もあり協力をお願いしたい。

#### 【議長選出】

全役員了承を得て、議長に坂本篤志氏（76卒・佐和）、副議長に奥島和也氏（90卒・電線）が選任された。

#### 【役員任命】

新任の副会長・常務理事・会計監査併せて3名が山崎会長より委嘱された。

### 【報告事項】

- ・2018年度総会の出席率について報告。
- ・会計監査5月18日（土）に実施する。
- ・支部長研修会6月22日（土）に開催する。
- ・新旧役員交流会を5月18日（土）「まんぼう」で開催する。
- ・新任本部役員研修会を5月29日（水）に開催する。
- ・100周年実行委員会より組織表について説明。今年度より、各タスクを各委員会に割り当てて活動する。

### 【審議事項】

役員マニュアル改訂（案）資料にて改訂箇所、内容について説明。全会一致で承認された。

### 第2回6月26日（水）

#### 【山崎会長】

・母校訪問については、9月19日（月）と2月10日（月）の両日に実施予定ですが、それ以外の平日でも結構ですので希望する方は2週間前に連絡をいただきたい。

・卒業5年・10年研修については、12月14日（土）に実施する。生徒からすると、先輩との話やアドバイスを受ける良い機会となる。

#### 【会計監査報告】

5月18日会計監査を行い、報告通り相違ないことを確認。次の3点に

ついて要望有り。

- ①支部や地区活動でサポートしきれない会員に対する支援の継続。
- ②各支部の問題の把握とその施策の活動反映。
- ③創立100周年記念行事の準備推進。

### 【各委員会活動報告】

各委員会より2019年度の活動報告。

### ◎総務委員会

会員名簿の取り扱いや個人情報については今後議論する。

### ◎100周年実行委員会

①記念総会・記念碑タスク  
大筋の計画が完了。今後はスケジュールやレイアウトの詳細を検討していく。記念碑については内容検討中。

### ②記念式典タスク

体制の構築が完了。今後は講演やイベント内容の詳細を詰めていく。

### ③記念誌タスク

目次案の作成完了。記念誌の発行は総会の半年後頃を予定。

### 【審議事項】

第101回高校野球茨城大会の茨城新聞広告掲載について配布した企画書の広告内容について全会一致で可決した。

### 【報告事項】

・100周年の資料として、日専校関連の写真で要望があれば杉山先生と連携をお願いする。

会員の消息

◎結婚

おめでとぅ

あじやます



◎定年退職

ご苦労さま  
でした



鈴木	一男氏(62卒・日)	立	19	3	31
太田	好寿氏(62卒・栃)	木	19	3	31
藤田	悟氏(63卒・多)	賀	19	4	30
菅原	久義氏(63卒・水)	戸	19	4	30
大内	晴夫氏(63卒・水)	戸	19	4	30
山口	則雄氏(63卒・日)	立	19	5	31
渡邊	忠夫氏(63卒・大みか)	戸	19	5	31
戸嶋	明夫氏(63卒・日)	立	19	5	31
中條	弘之氏(63卒・日)	高	19	5	31

藤村 功氏(63卒・水) 戸 19 5 31

◎退職  
向後 僚亮氏(103卒・建) 機 19 5 31  
吉成 薫氏(100卒・水) 戸 19 6 30

◎会員逝去

謹んでご冥福を  
お祈りいたします

◎本部会員

笹島	庄司氏(40卒)	18	12	3
中村	誠氏(43卒)	19	4	4
大曾根	修氏(41卒)	19	4	19
田尻	稔氏(48卒)	19	5	10
渡辺	芳男氏(36卒)	19	5	18

◎家族逝去

お悔やみ申し上げます

◎家族死亡

水野	利之氏(69卒・山崎)	母室	19	2	8
高橋	栄一氏(69卒・国分)	母室	19	3	28
松井	浩一氏(65卒・日高)	母室	19	5	23
伊藤	健一氏(77卒・国分)	母室	19	6	10



▼先日、支部長研修会で日専寮を訪れた時に、在寮していた当時をふと思い出してみた。あの時は時間の流れを早く感じたことは全く無く、むしろ「この時よ、早く過ぎてくれ」と真剣に思っていたものだ。▼2019年もあつという間に半分が経過し、また新元号「令和」も違和感なく耳になじんできたことにより、時の流れる早さを切に感じる。▼現在、日工同窓会設立100周年記念行事の委員会が活動を徐々に始めているが、来るべきその時になつて「あつという間に過ぎてしまった」と後悔することの無いように、一同一致団結して進めていきたい。

▼日工同窓会が2年後に100周年を迎える。少子高齢化社会と言われながらもよくも続いてきたと関心する。▼編集を担当して7年になるが毎年、四苦八苦しながら纏めている。さらに100周年記念誌まで纏めると身の引き締まる思いがする。100周年記念誌は単に発行するのではなく、少しでも評価される内容となるよう進めていきたい。6月22日に同窓会館にて支部長研修会が開催された。厳しい状況下で活動している支部も少なくない。会員の皆様方に情報を発信し紙面に変化を持たせ読みやすい、親しみやすい会報となるよう進めていきたい。(かっ)